

Daniel Freedman Trio

[Profile]

ダニエル・フリードマン Daniel Freedman (ds)



ドラマー、パーカッショニスト、作曲家

ニューヨークに生まれ、音楽一家の中で育つ。

高校時代に巨匠マックス・ローチ、ビリー・ヒギンズに師事し、後に西アフリカ、キューバ、中東でドラムを勉強するために訪れる。

1990年代のニューヨークのクラブ"スモールズ"でジェイソン・リンドナーの定評あるビッグバンドのドラマーとして、また同様にオメル・アヴィタル・セクステットのドラマーとして活躍し頭角を現す。

ダニエルは現在、グラミー賞受賞歌手アンジェリーク・キジョーのバンドメンバーとして世界中をツアーし、またスティング、ユッス・ンドゥール、ダイアン・リーブス、トム・ハレル、ウイントン・マルサリス等、多くのミュージシャンとレコーディングし共演している。そしてトランペッターのアヴィシャイ・コーエン、オマー・アヴィタル、ヨナタン・アヴィシャイとによるバンド"Third World Love"のコリーダーとして頻繁に世界中をツアーしている。

2012年4月にリリースされた彼のCD "Bamako By Bus" はマーク・ターナー、トランペッターのアヴィシャイ・コーエン、ライオネル・ルエケ、ジェイソン・リンドナーをフィーチャーし、大きな話題になっている。

ニア・フェルダー Nir Helder (g)



1982年生まれ。

ニューヨーク郊外で幼少よりジャズやロックなど様々な音楽に接して育ち、地元のロックバンドで演奏するようになる。その後、全額支給奨学金を得てバークリー音楽大学に進む。2006年には拠点をニューヨークへ移しすぐに頭角を現し、Esperanza Spalding や Terri Lyne Carrington、Jack DeJohnette、Greg Osby、Joey DeFrancesco、Eric Harland、Jose James、Meshell Ndegeocello、Cindy Blackman や New York City Opera、Dianne Reeves、Bobby McFerrin、Stanley Clarke、Lizz Wright 等そうそうたる顔ぶれ達との共演を果たし、Radio City Music Hall や Village Vanguard 等の著名な Jazz クラブはもちろん、NBC や Fox といった TV メディアでも活躍している。彼のユニークなサウンドと個性あふれる創造的なスタイルへの賞賛に後押しされて、2010年には自身のグループで国内やヨーロッパツアーを行い成功をおさめる。

また、1年間にわたって出演していた NY の老舗 Jazz Bar 「55 Bar」では、Kevin Hays、Aaron Parks、Aaron Goldberg、Uri Caine、Greg Osby、Chris Potter、David Binney、Ben Street、Matt Penman、Scott Colley、John Patitucci、James Genus、Tim Lefebvre、Nate Smith、Mark Guiliana、Shawn Pelton、Ali Jackson、Keith Carlock、Anton Fig、Snarky Puppy といった世界の Jazz シーンを牽引している音楽家達と共演する。その後、Aaron Parks、Matt Penman、Nate Smith という強靱なメンバーでのレコーディングをスタート。

2013年にはモントリオール Jazz フェスティバルにて、Sax 奏者 Dexter Gordon のトリビュート演奏を Terri Lyne Carrington、Greg Osby、and Orlando Le Fleming らと成功させる。2014年、前述のレコーディングメンバーにて、自身初となるリーダーアルバム「Golden Age」をリリース。

Jazz、ロック、Hip-Hop、ポップスなど多様なスタイルをオーバークロスするこの作品は、各誌／メディアからも好評価を得ている。

ニューヨークタイムズ誌に「神童」と評され、モントリオールガゼット誌からは「信じられない才能の持ち主」と呼ばれる、

次世代ジャズギタリストである。

タル・マシアハ Tal Mashiach (b)



1993年イスラエルの北部のハラシム村出身。

11歳でクラシックギターを習い始め、エルサレム音楽アカデミーのクラシックギター部門国内コンクール第一位(2011年)など数々の賞を受賞。また優れた若い才能に授与されるアメリカ＝イスラエル文化財団の奨学金も獲得した。2011年兵役に就き、軍の“秀でた音楽家育成コース”に所属、その際にクラシック、ジャズ両分野のダブルベースを学び始める。

2012年～2014年にテルアビブにあるイスラエル音楽学校ジャズ科に奨学金を得て学ぶ。

現在はNYのニュースクール大学のジャズ科に満額の奨学金を得て在籍中。イスラエルでは、ダニエル・ザミール、ユヴァル・コーエン、アモス・ホフマン、アヴィシャイ・コーエンなど著名な先輩と多数共演。

タル・マシアハは様々な楽器を弾きこなすミュージシャン、作曲家で、その両方の才能をフルに活かし、目下イスラエルのミュージックシーンを牽引する若手代表の一人。